

セーブ・ザ・チルドレン 2024年「子どもの食 応援ボックス」冬休み分 対象者アンケートまとめ



2024年
子どもの食
応援ボックス

冬休み分 アンケートまとめ

(イメージ)

2024年12月
公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

<2024年「子どもの食 応援ボックス」冬休み分実施概要・対象者アンケートについて>

【配送期間】	12月上旬から順次発送
【配布世帯数】	5,006世帯に発送予定
【対象者の状況】	1. 日本国内に居住している 2. 住民税所得割非課税世帯またはそれに準ずる 3. 0歳～18歳未満の子どもがいる ※18歳以上で高校に在籍している子どもがいる世帯は対象になる場合あり
【配布内容】	・食料品セット(米などの主食、副菜、飲料、お菓子など) ・文具など ・各種情報提供(子どもの就学費用を支援する各種公的制度の紹介など)
【実施目的】	長期休暇中に食事の回数や内容が制約されがちな、経済的に困難な状況にある家庭の子どもたちの食の状況を改善するため
【アンケート方法】	オンラインフォームへの回答 ※2024年「子どもの食 応援ボックス」の発送先住所確認フォームに回答
【アンケート期間】	2024年10月9日～11月11日

世帯の状況(申込フォーム*回答時)

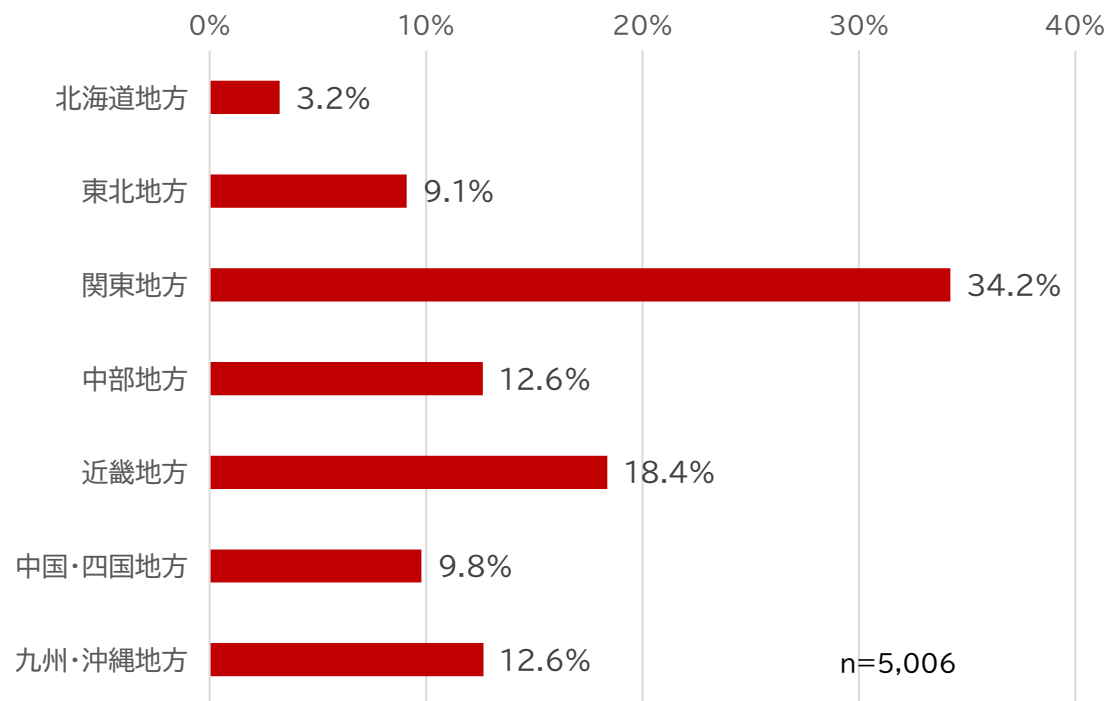
*「2024年 子どもの食 応援ボックス」は、2024年6月に夏休み・冬休み分をまとめて申込受付した。保護者の性別、居住地域、世帯状況は、6月の申込フォームに記載された内容を集計したものである。

保護者の性別

女性:97.6%、男性:2.0%、回答しない:0.3%

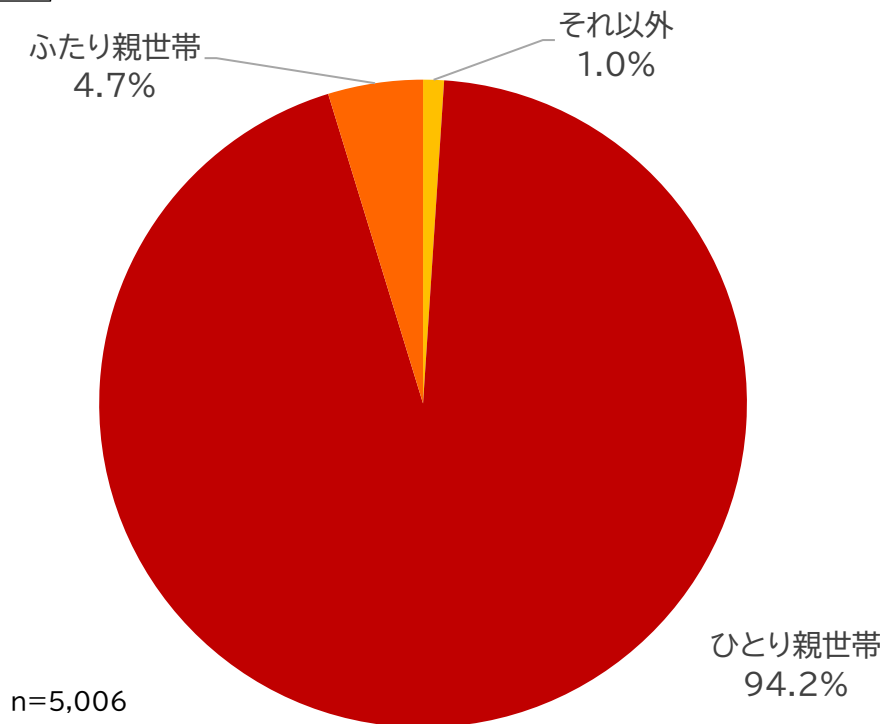
居住地域

グラフ1



世帯状況

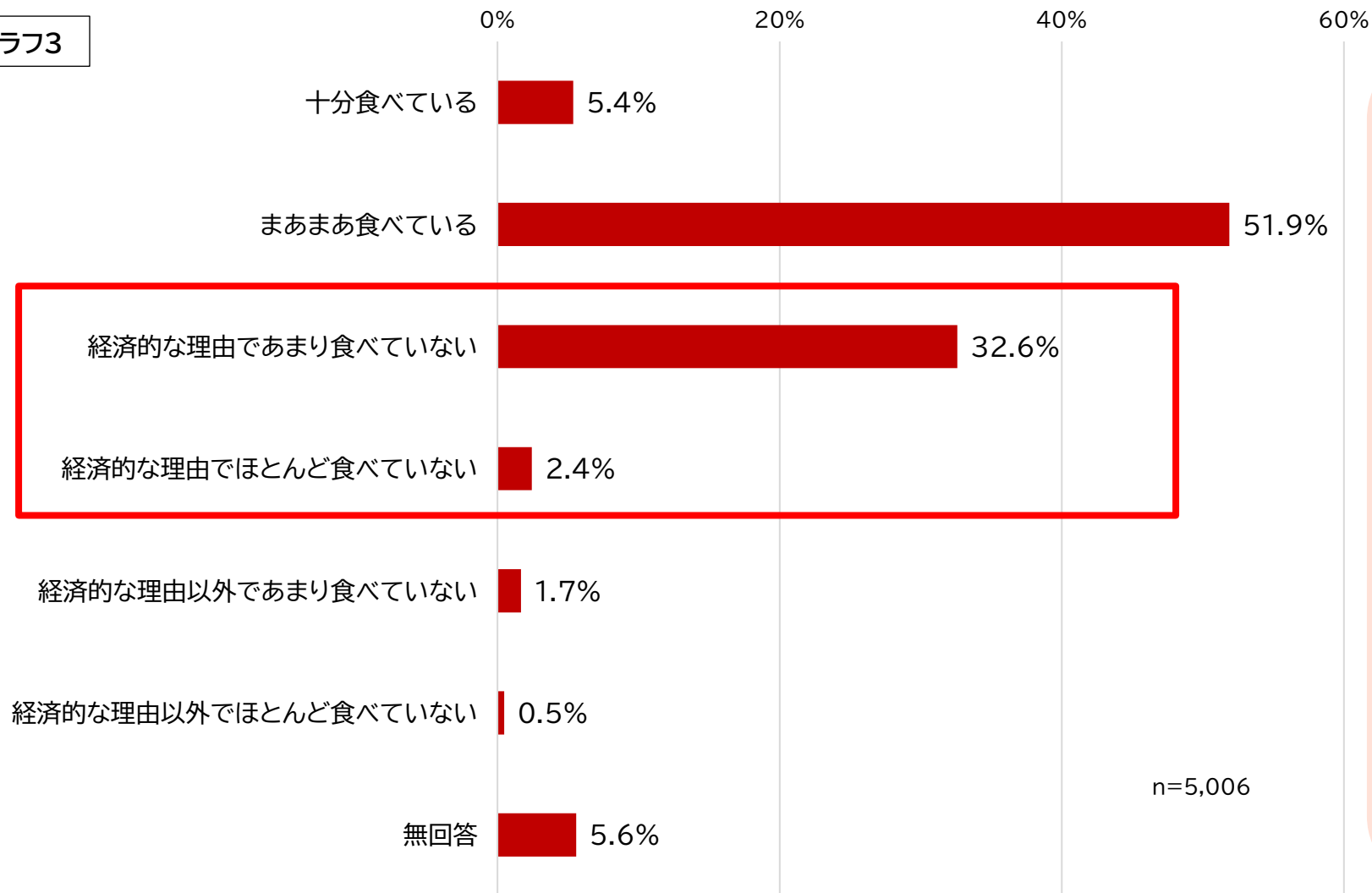
グラフ2



1. 過去1週間に米を食べた量(任意、単数回答)

質問:あなたは、過去1週間に、給食以外で子どもが十分な量のお米を食べていると思いますか。

グラフ3



「経済的な理由であまり食べていない」「経済的な理由でほとんど食べていない」は、合計で35.0%となった。

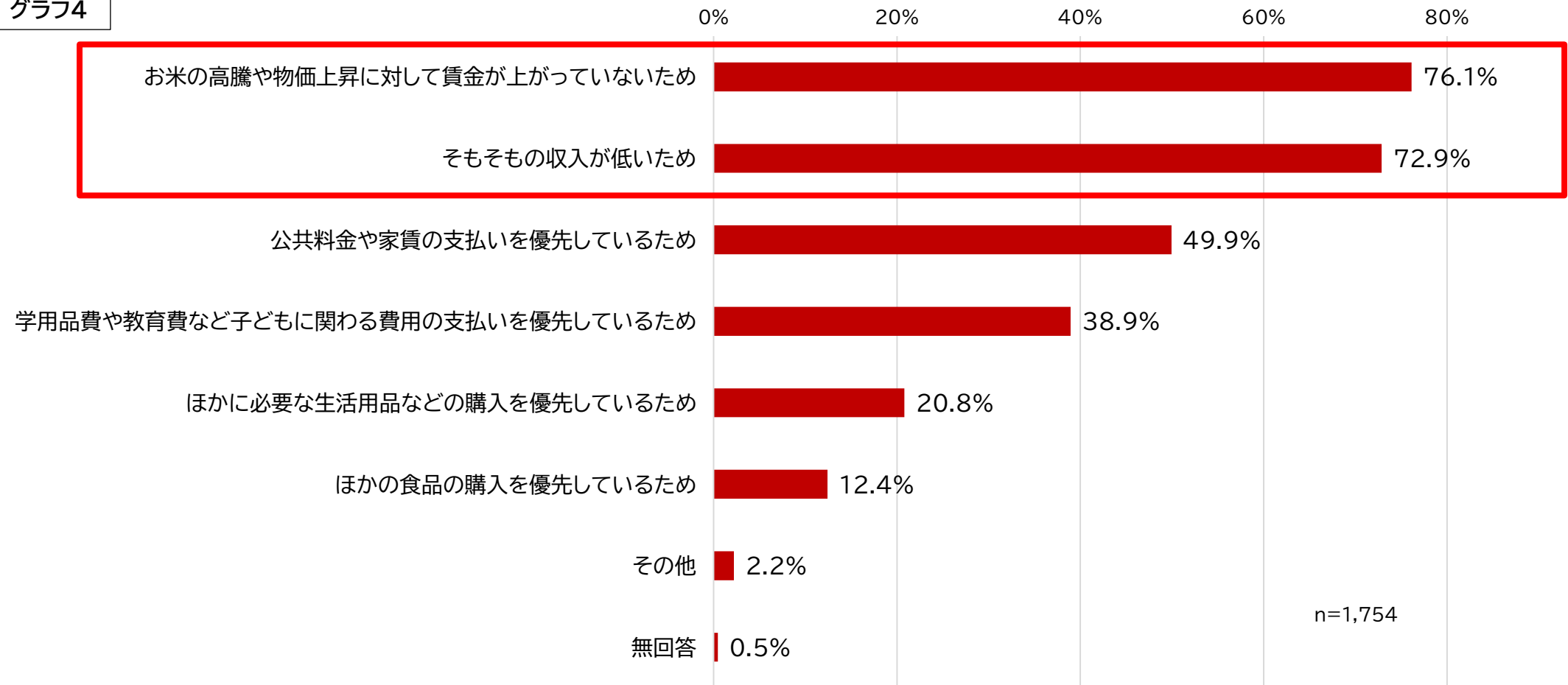
米の高騰が問題になる以前(2023年10月ごろ)の状況もたずねたが(グラフ7)、「あまり食べていなかった」「ほとんど食べていなかった」は合計で12.2%であった。

1年前の状況は思い出して回答しているため単純な比較は難しいが、主食である米すら十分に食べられていないという回答が3倍近く増えており、物価上昇によって子どもの健康な発育への影響が懸念される。

2. 米を十分に食べられない経済的理由(任意、複数回答)

質問:(前ページの質問で「経済的な理由であまり食べていない」「経済的な理由でほとんど食べていない」と回答した人のみ)
「経済的な理由」について、あてはまるものをすべて選択してください。

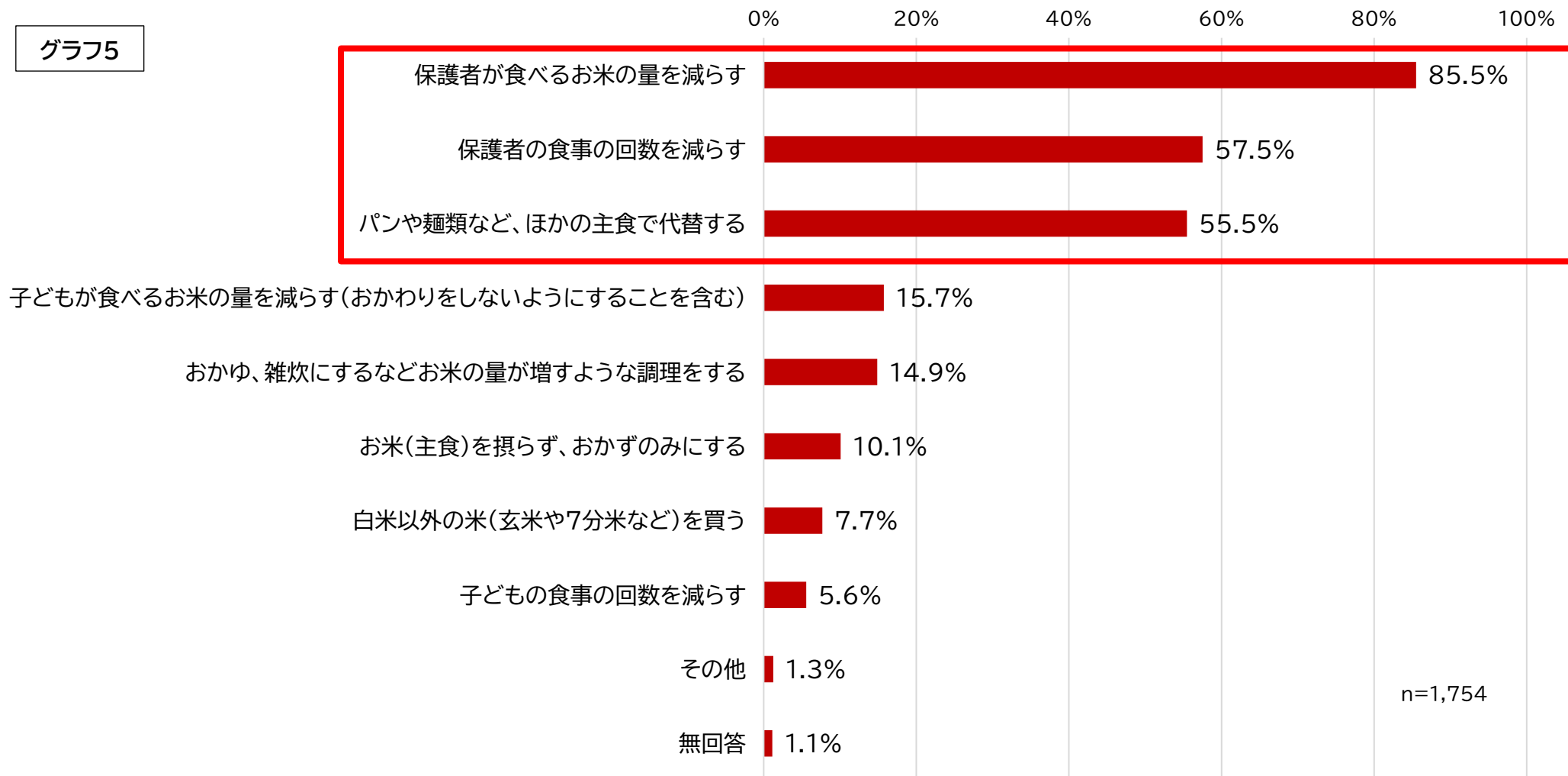
グラフ4



3. 米を十分に食べられない時の工夫(任意、複数回答)

質問:(前ページの質問で「経済的な理由であまり食べていない」「経済的な理由でほとんど食べていない」と回答した人のみ)
十分な量のお米を食べることができないときにどのような工夫をして生活していますか。

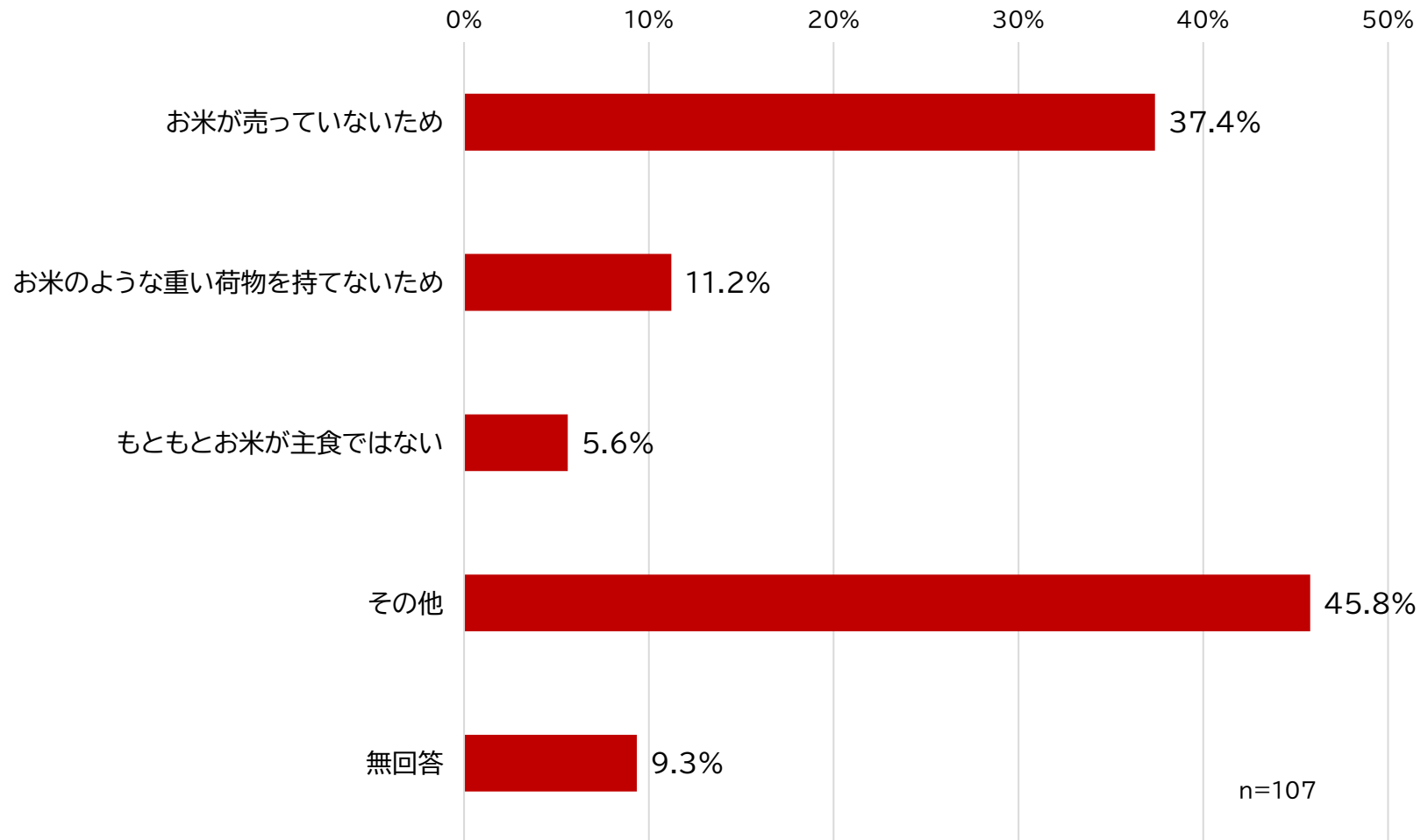
グラフ5



4. 経済的理由以外で米を十分に食べられない理由(任意、複数回答)

質問:(前ページの質問で「経済的な理由以外であまり食べていない」「経済的な理由以外でほとんど食べていない」と回答した人のみ)
十分な量のお米を食べていない理由についてあてはまるものをすべて選択してください。

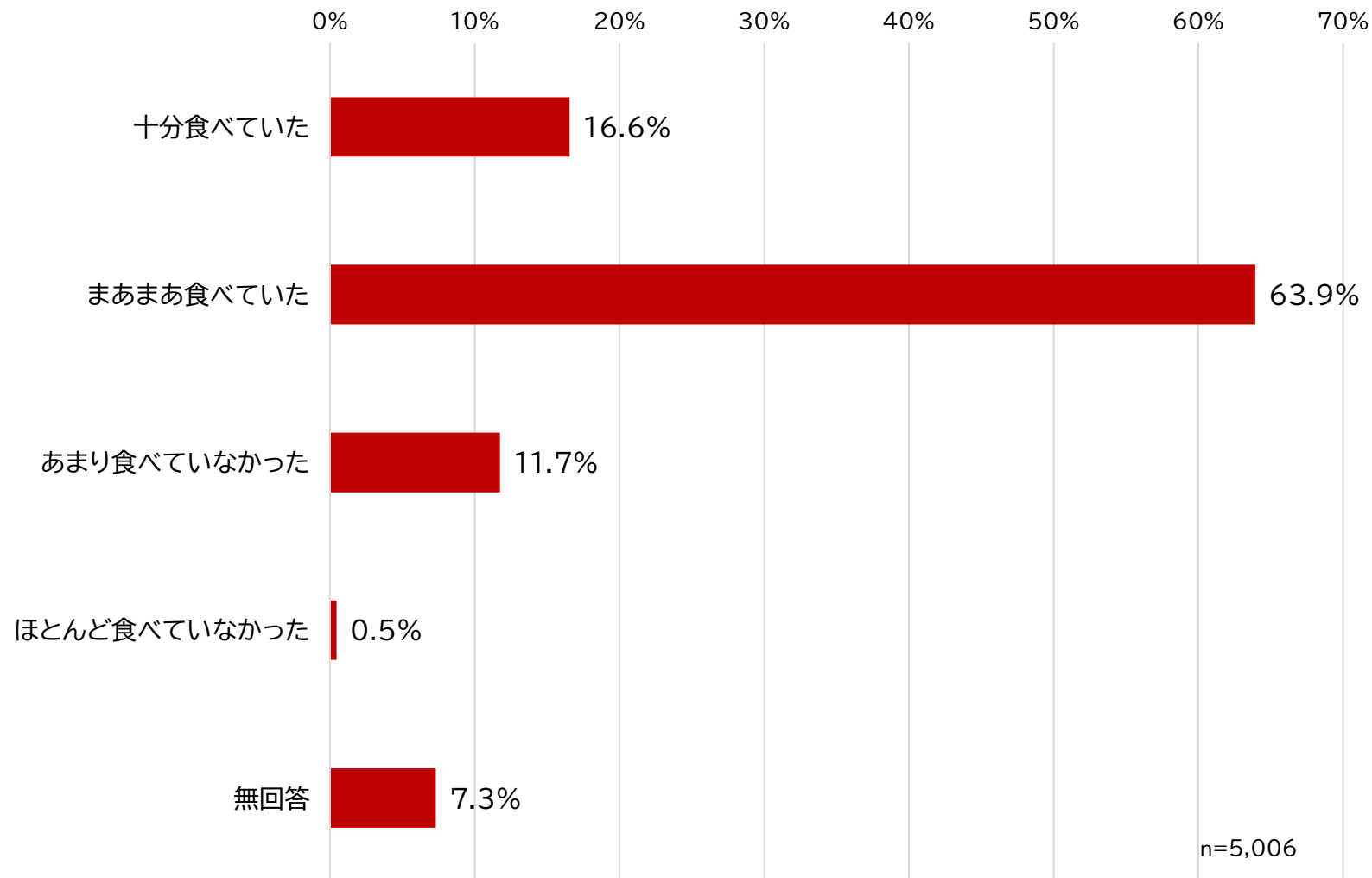
グラフ6



5. 価格高騰前に米を食べていた量(任意、単数回答)

質問:お米の高騰が問題になる以前(2023年10月ごろ)は、給食以外で子どもが十分な量のお米を食べていましたか。

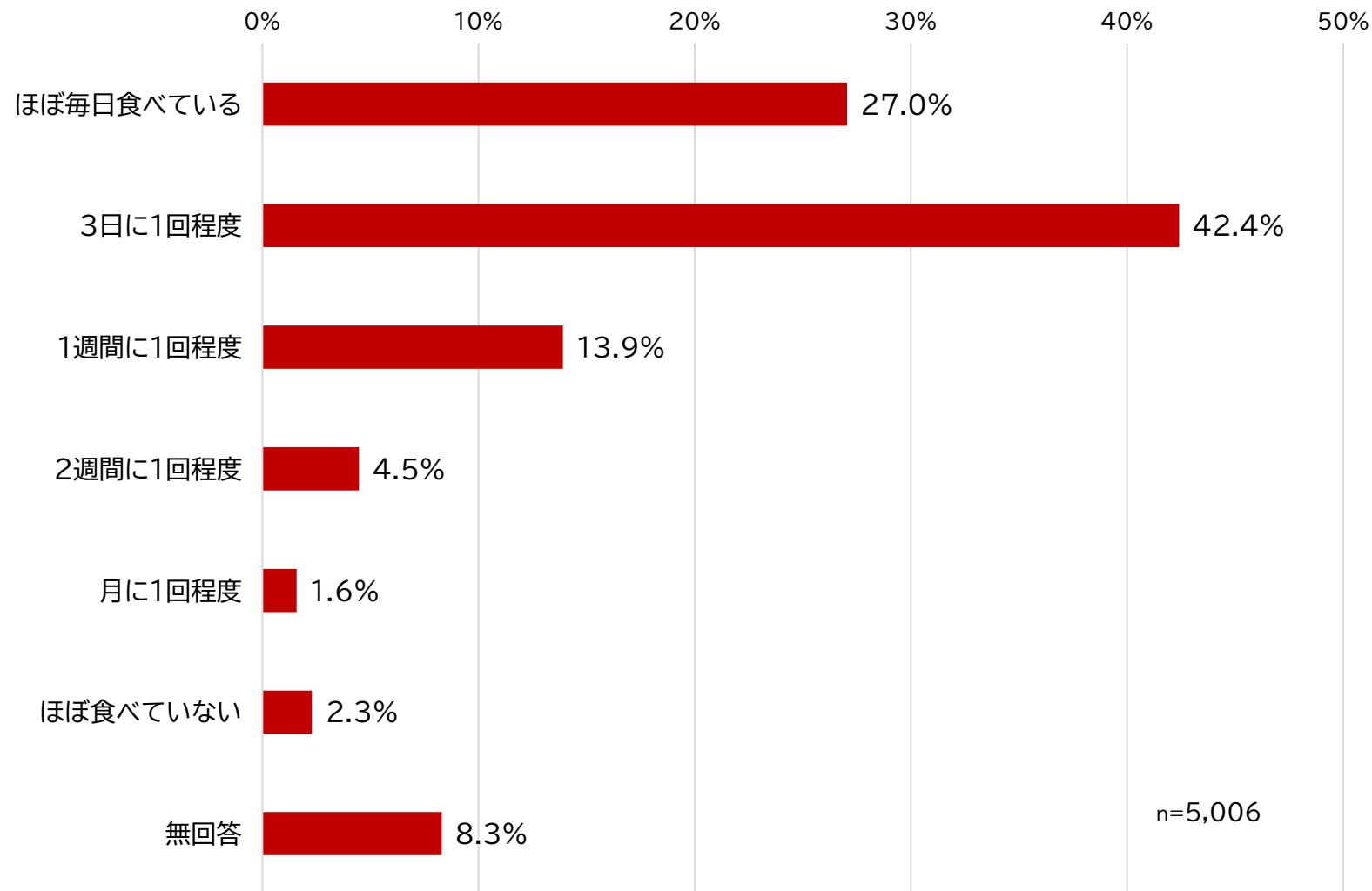
グラフ7



6. 魚、肉を食べている頻度(任意、単数回答)

質問:現在、給食以外の食事で魚・肉をどの程度食べていますか。

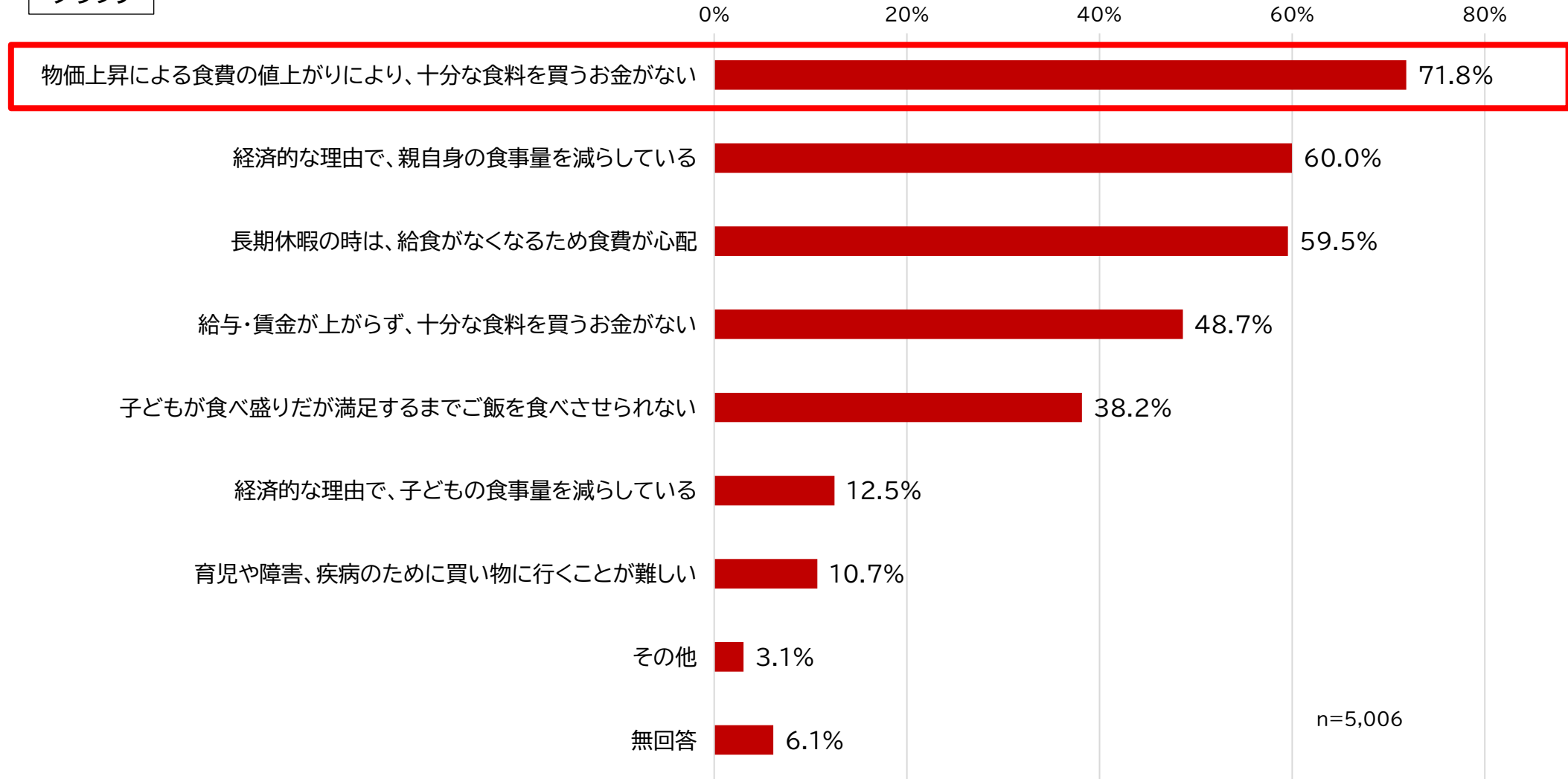
グラフ8



7. 世帯の状況(任意、複数回答)

質問:現在のあなたの世帯の状況に当てはまるものを、すべて選択してください。

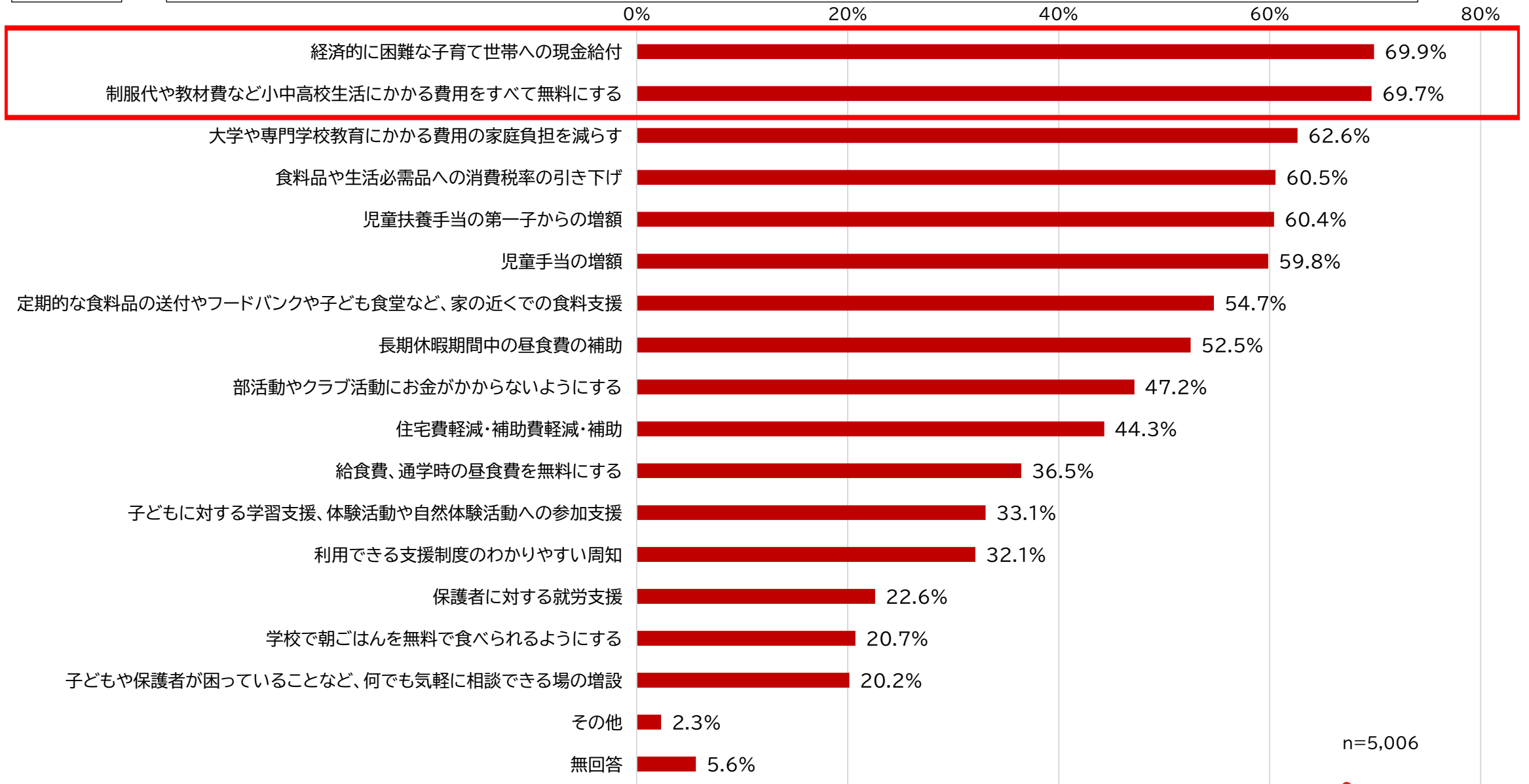
グラフ9



8. 子育てをするうえで国に期待する支援(任意、複数回答)

グラフ10

質問:2024年10月1日、総理大臣が交代し新内閣が発足しましたが、あなたが子育てをするうえで国に期待する支援は何ですか。



n=5,006

9.あなたが年末年始に向けて子育てにおいて心配なこと、困っていること、社会や行政に伝えたいことを具体的に教えてください(自由記述)

<米の高騰について>

- お米が高くて食べる量を減らしているので栄養面でとても心配です。(40代、女性、ふたり親、小学1-3年生2人・中学生1人・高校生世代2人、宮城県)
- 今はお米が倍程高くなってしまい、思うように食べさせてあげてません。私は1日1食です。(40代、女性、ひとり親、中学生1人・高校生世代1人、愛知県)
- 何もかも値上がりで手が出せない。十分な食べものを用意出来ず我慢ばかりさせている。私が食べないようにしても足りないので困っている。(30代、女性、ひとり親、中学生1人・高校生世代1人、三重県)
- 子どもが食べ盛りで、沢山食べさせたいが、ご飯をあまり炊かないようにしている。年末年始、子どもがずっと居るので食費が怖い。生活をどうやって行くか考えなければいけない。(30代、女性、ひとり親、中学生3人、熊本県)

<物価高騰について>

- やはり全てにおいて高すぎて悲鳴しかでないことです。生きていくためには我慢、我慢…我慢…と言い聞かせて日々頑張っていますが正直キツイ。少しでも生活に余裕がほしいし子どもたちにもお腹いっぱい食べさせてあげたいです。(30代、女性、ひとり親、小学1-3年生1人・中学生1人、栃木県)
- 物価高でお米や食品が思うように買えず苦しんでる。年始年末を過ごせるかわからない。年を越せたとしても生活が苦しいのは変わらない。子どもたちに申し訳なくて辛い。(40代、女性、ひとり親、小学4-6年生2人、岩手県)
- お金の心配しかありません。こんなに物価が上がっているのに、給料は上がらない…毎日毎日生きることに必死で、何のために生きているんだろとどうしようもない感情になる事があります。このままでは年越しができないです…(30代、女性、ひとり親、中学生2人、東京都)

※自由記述は、原文のまま。ただし、明らかな誤字・脱字は修正したり、個人情報保護の観点などから原文から一部を抜粋して文意が変わらない範囲で編集している場合がある。
()内は回答者の年代、性別、世帯状況、養育している子どもの学年、人数、居住地(申込フォームに記載された回答)。

9.あなたが年末年始に向けて子育てにおいて心配なこと、困っていること、社会や行政に伝えたいことを具体的に教えてください(自由記述)

<冬休み中の生活について>

- やはり長期休暇が来るたびに昼食の心配をします。給食のような、バランスのいい食事は無理。朝と昼を一緒にして1日二食にしたりもします。(40代、女性、ひとり親、中学生3人・高校生世代2人、愛知県)
- お年玉、クリスマスプレゼントを十分に用意できない。誕生日プレゼントもここ数年はあげれてない。(50代以上、女性、ひとり親、高校生世代1人、滋賀県)
- クリスマスプレゼントは、もう諦めています、冬休み中の食費がいつもよりかかるので、十分な食事をさせてあげられるのかが心配です。(30代、女性、ひとり親、中学生1人・高校生世代1人、千葉県)
- これからイベントが多い季節になるので子どもの体験格差が心配です。周りと比較して自分たちが惨めだと思って欲しくありません。(30代、女性、ひとり親、3歳-就学前1人・小学1-3年生1人、埼玉県)

<政府に望む支援>

- コロナ禍に加えて物価高、給料は変わらずとても生活が苦しくなりました。食費は後回しになるので、お金が余る事がなく、1食減らしたり2食減らしたりで生きるのがきついです。この先、明日でさえも不安です。長期的な現金給付を望んでいます！(30代、女性、ひとり親、小学4-6年生1人、熊本県)
- クリスマスプレゼントや、冬服、など、衣類の準備、年末年始にかかるお金がないのが、心蝕まれる。継続的な十分な現金支援がほしい。(40代、女性、ひとり親、小学4-6年生1人・中学生1人・高校生世代1人、沖縄県)

<その他>

- 去年は節約のしすぎで満足に食べられず、中3の息子の体重が秋～冬にかけて7キロも減ってしまったので今年は繰り返さないよう緊張しています。(50代以上、女性、ひとり親、中学生1人・高校生世代1人、岡山県)
- お友達から「xxxくん、xxxちゃんのおうちは、サンタさん来ないんだね」と言われて泣いて帰った事もあり心が痛みます。衣食住の食だけでも子どもに十分に用意してあげたいんです。(40代、女性、ひとり親、0-2歳2人、神奈川県)